

暑い中での農作業

ボランテア新聞

発行日
7月19日

きれいな田んぼへ

草が青々としげっている田んぼ、ほとんどの手入れをしていないと、虫や生き物の草になつてしまいました。そんな田んぼに、トラクターを使って、ガリガリとすいていきました。始めは、草も高く、トラクターを進めるのもたいへんで、それに、慣れない運転だったのひ、本当に一苦労でした。

しかし、慣れしてしまうと、わりと簡単なもので、それに、一回全草をすき終えて、二度目をすくときは、草とかもたいぶなくなつて、楽にすることができました。

太陽の照りつける中、広い、草の多い、青い田んぼを、一生懸命すくことができて、達成感を得ることができて、すごくいい経験になりました。

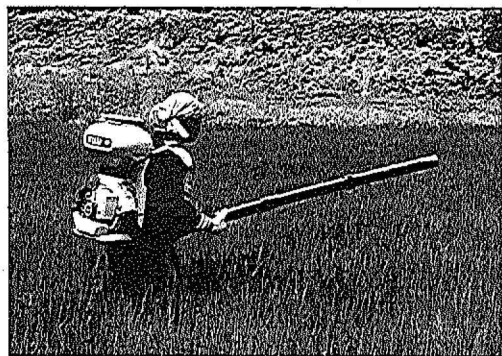
ここにはまた、たくさん野菜とかが育つことを、期待しています。

トラクター作業



おいしいお米を

この時期の田んぼといふは、稲作です。稲は、手入れが大切で、ほつていけば、育ちません。



肥料まき

咸心相心

そこで、機械を使って、肥料をまきました。この機械は、思っていた以上に重たくて、それに、田んぼの中は、歩きにくくて、大変でした。この田んぼを往復ほつて、無事に、この肥料まきが終りました。この米が、大きくなつて、おいしく食べられることを、まちたいと思います。

このボランテアを通して、すごくいい経験をする事ができました。田んぼをすくというのは、トラクターが、まっすぐに進まないし、いろんな草が、かかったりして、とても大変でした。

肥料をまくのは、うまく歩けないし、まき方にむらがあったりとかもして、端の方まできつ、ちりかけることが、難しかったです。

こちらの作業にしては、田んぼをすくためには、とても大切なことだけど、どちらにも正直、ものすごく大変でした。

それに、簡単にひさるものでもないのひ、集中力をすごく使つて、精神的にも疲れました。

でも、誰かがしなさいといけなのひ、ここからは、ひさるだけ手伝えるようにしたいと思ひました。